



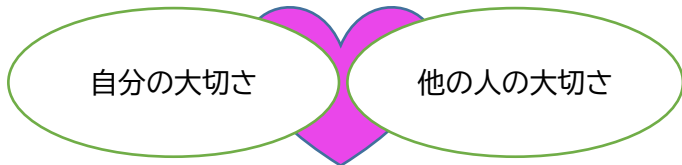
鹿南中学校だより

「自律」と「協生」

熊本市立鹿南中学校
令和6年度 第4号
6月13日発行
文責：坂田孝久

自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること

6月は、「心のきずなを深める月間」です。



子どもたちが自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、豊かな人間性や社会性を身につけ、子ども一人一人が命を大切に、思いやりの心を持ち、安心して生活するためには、次のような力や技能が求められます。

例えば、

- 1 他の人の立場に立ってその人に必要なことやその人の考えや気持ちなどがわかるような想像力、共感的に理解する力
- 2 考えや気持ちを適切かつ豊かに表現し、また、的確に理解することができるような、伝え合い、わかり合うためのコミュニケーションの能力やそのための技能
- 3 自分の要求を一方向的に主張するのではなく建設的な手法により他の人との人間関係を調整する能力及び自他の要求を共に満たせる解決方法を見いだしてそれを実現させる能力やそのための技能

(文部科学省 HP より)

これらの力や技能を着実に培い、子どもたちの人権感覚を健全に育てていくために、これからも学校全体としての取組を行って参ります。

また、相手の立場を考え、思いやりの心をもって他者に接することは、いじめの未然防止だけでなく、被害を拡大させないことにもつながります。

- (1)いじめのサインを見逃さない
- (2)いじめが起こりにくい集団
- (3)いじめを許さない環境

鹿南中生徒の皆さんのやさしい心で、これからもお互いを大切にできる学校でありたいと思います。

生徒総会 「ハートフル宣言」

ハートフル宣言

三つの柱

- 「みんなのチャレンジを応援します」
- 「困っている人に気づき、寄り添います」
- 「ありがとうを見つけます」

生徒総会 (5/31) において、全校生徒で考え最終的に決まった「ハートフル宣言」。

この日の生徒総会では、一人一人のことを大切に思い、居心地の良い学校にするためにはどうすればいいのだろうと考える姿が、体育館にあふれていました。

各クラスで総会に向け、学級討議・生徒議会(5/23)を行い、総会当日を迎えました。

第1号議案「委員会活動目標及び計画について」

第2号議案「鹿南 ハートフル宣言をつくろう」

第1号議案では、各クラスから「KGK テストでリスニング問題も追加してほしいです。」など、建設的な意見もたくさん出てきました。

第2号議案では、提案された「ハートフル宣言」について、各クラスでとてもよく考えた意見が多く、「『行動します』を『寄り添います』に変えてはいいでしょうか。」という意見に対して、その場で話し合う時間をとり、その後、「寄り添います」の方があたたかみがあるのではという意見などから、みんなで「寄り添います」に決定しました。また、「困っている人に気付く以外に、困っている人が困っていると言えるような環境づくりが大切だと思います。」など、一人一人のことを考えた意見も出され、宣言をつくるだけでなく、その後、取り組む姿勢に関する貴重な意見もありました。



栄光をたたえて

◇第38回熊本県中学生陸上競技選手権大会 6/9(日)

【3位】(共通女子四種) 3年生